

指定管理者申請企業財務分析評価

※収益性、効率性、生産性、安全性を総合的に評価

		2020		2021		2022		総合 順位	分析内容
		点数	順位	点数	順位	点数	順位		
A社	収益性	7.13	1	7.25	1	6.75	2	1	他社と比較して安全性が高い。収益性も他社よりも比較的高い位置をキープしていたが、2022年3月決算ではB社、C社よりも低くなっており、収益力が低下している。
	効率性	4		3.67		3.67			
	生産性	6		6		5.67			
	安全性	8.8		9		8.9			
B社	収益性	5.63	2	7.13	2	7.63	1	2	安全性は担保できている。収益性も2021～2022年にかけて成長しており、数字的には2021年までA社よりも劣っていたが、2022年3月決算では4社の中では最も収益性が高くなっている。しかし、生産性は低く従業員一人当たりの売上・利益が低い企業である。
	効率性	4		4		4			
	生産性	1.67		2		2.67			
	安全性	8.3		8.1		8.2			
C社 日本スポーツ 振興協会	収益性	4.13	3	1.75	3	7.38	3	3	他社と比較して効率性が高い企業である。総資本を効率的に売上に結びつけているといえる。収益性について2021年3月決算は悪化していたが、2022年3月決算には他社水準に回復させている。しかし、生産性が低く、一人あたりが稼ぐ売上、利益が少ないといえる。（特定非営利活動法人である。）
	効率性	5		5		5			
	生産性	1		1		1.33			
	安全性	7.7		6.2		7.6			
D社	収益性	2.63	4	0.88	4	5.75	4	4	4社の中で各数値が最も低い企業である。2021年5月においては赤字決算であったが、2022年5月決算には持ち直している。2022年5月決算では利益増により黒字化した。が、まだ自己資本の割合が低く安定した企業経営を回復させるに至っていないとみえる。
	効率性	3.67		3.33		3.67			
	生産性	1.33		0.67		1.33			
	安全性	6.2		5.7		5.8			

収益性、効率性、生産性、安全性から経営を分析し、その結果及び評価内容を、第2回審査委員会で共有したうえで、第3回審査委員会で予定している面接審査に参加する団体数や採点方法等について協議。

財務分析のみで不適としなければならない団体はないと判断し応募した全4団体について面接審査を行うことを決定。

※ 各指標は10点満点

◇収益性 企業がどれだけ収益を上げているかの指標。収益性が高いほど、利益を上げる力が強くなる。

◇効率性 企業が持つ資本をどれほど効率的に利用して、売り上げや利益に結びつけているかの指標。

◇生産性 人員や設備などの生産手段を活用して、より多くの利益を上げることができているかの指標。

◇安全性 企業の資金繰りや健全性の面から倒産リスクをみる指標。